



2024年12月13日

各位

会社名 ラクサス・テクノロジーズ株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員 高橋 啓介  
(コード番号: 288A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役執行役員 中尾 聡志  
(TEL 082-236-3801)

## 東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2024年12月13日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、2025年3月期(2024年4月1日から2025年3月31日)における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

### 【個別】

(単位: 百万円、%)

項目	決算期	2025年3月期 (予想)		2025年3月期 第2四半期累計期間 (実績)		2024年3月期 (実績)		
		対売上 高比率	対前期 増減率	対売上 高比率	対売上 高比率			
売上高		2,693	100.0	22.8	1,284	100.0	2,193	100.0
営業利益		634	23.6	39.6	338	26.3	454	20.7
経常利益		576	21.4	23.4	337	26.2	467	21.3
当期(四半期)純利益		455	16.9	9.6	283	22.1	415	19.0
1株当たり当期 (四半期)純利益		21円64銭		14円83銭		21円76銭		
1株当たり配当金		0円00銭		0円00銭		0円00銭		

- (注) 1. 当社は、連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。  
2. 2024年3月期(実績)及び2025年3月期第2四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 2025年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(6,543,600株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。  
4. 当社は2024年5月28日をもって連結子会社であるLAXUS TECHNOLOGIES INC.を解散しているため、2024年3月期は連結損益計算書を作成しておりますが、2025年3月期第2四半期累計期間及び2025年3月期は連結財務諸表を作成しておりません。上表における2024年3月期(実績)は個別財務諸表の数値を記載しており、2025年3月期(予想)における対前期増減率は2024年3月期個別財務諸表の実績数値との比較によるものとなります。

## 【2025年3月期業績予想の前提条件】

本資料に記載の2025年3月期の業績予想数値は、2024年9月までの実績値に2024年10月以降の予想数値を合算して算出した数値となっております。

### 1. 当社の見通し

当社は、日本国内の一般消費者に対して、ブランドバッグのサブスクリプション型シェアリングサービスである「ラクサス」を提供することを主な事業としております。

同サービスは、良質なブランドバッグを気軽に利用できる機会を一般消費者に提供すること及び持続可能な社会の実現へ貢献することを目的として、2015年2月にスタートしました。定額課金制のサブスクリプションサービスを通じて気軽に良質なブランドバッグを利用できる機会を一般消費者に提供するとともにブランドバッグという資産を大切にメンテナンスしながら最大限に活用し、モノの価値を社会に循環させていく事業となります。

当社は、スマートフォンアプリやインターネットサイトを通じて一般消費者が良質なブランドバッグを「お手軽に」「使いたいときにいつでも使える」機会を提供することに取り組んでおります。これらの活動により、「購入は躊躇するが利用してみたい」というユーザーの潜在的な需要を喚起することでサービス継続率の向上を図っております。

また、サービスの用に供するブランドバッグは、主にリユース市場を通じて調達し、自社の専門スタッフが大切にメンテナンスすることで長く良好な状態を維持しており、サービス開始以来、仕入れたバッグの直接廃棄はゼロとなっております。配送に使用するBOXもリユースするなど細部にわたって環境に配慮することで持続可能な社会の実現に貢献しております。

更には、当社は、ユーザーがレンタル中のバッグで気に入ったものについては購入することも可能なサービス「買えちゃうラクサス」に加え、バッグの市場価値に応じて国内リユースセレクトショップやオークション、又は、海外ECサイト等より適切な販売先を選択するBtoB/C販売も開始しました。

従来、一般消費者は、ブランドバッグを購入して所有することに価値を見出しておりました。当社は、ブランドバッグをシェアリングという「使用価値」、一定期間使用しても残価が残るという「時間的な価値」等を有しているアイテムだと考えております。そのため、当社は、現在のラクサス事業を起点として「使用（シェアリング）」と「販売」を組み合わせた仕組みを世の中に提供することで1つのバッグの価値を最大限引き出し、バッグの生涯収益を最大化する「モノの価値循環モデル」の構築を目指しております。

当社のビジネスモデルは、ブランドバッグという資産の付加価値を高め、多数のユーザーが持続的に価値をシェアすることで資産価値の最大化を図り、収益を生み出すとともに持続可能な社会の実現に貢献することを目指すビジネスであると考えております。

このような状況のもと、当社の2025年3月期の業績予想は、売上高2,693百万円（前期比22.8%増）、営業利益634百万円（前期比39.6%増）、経常利益576百万円（前期比23.4%増）、当期純利益455百万円（前期比9.6%増）を見込んでおります。

### 2. 業績予想の前提条件

#### (1) 売上高

当社は、ラクサス事業（ブランドバッグのサブスクリプション型シェアリングサービス）の単一セグメントであり、シェアリングサービス月額利用料とバッグ販売が主な売上高となっております。シェアリングサービス月額利用料に係る売上高は、過去実績を踏まえた会員数の見積もりを基準に、キャンペーンの実施等の影響を加味し、売上予想を立てております。2025年3月期第2四半期末の実績は、会員数19,847人であり、2025年3月期末においては、22,046人を見込んでおります。

なお、当社サービスに係る会員数は、クリスマスや卒業式といった季節要因により、下半期に増加する傾向にあります。

また、月平均顧客別単価は2023年12月に実施したサービス改定に伴う価格変更に伴い、2024年9月現在で前年同月比133%（8,766円）となっておりますが、2025年3月期末における大きな変動は見込んでおりません。

加えて、バッグ販売につきましては、販売個数を月別に見積もり、これに販売単価を乗ずることにより算出しております。

以上を踏まえ、2025年3月期売上高は2,693百万円（前期比22.8%増）を見込んでおります。

#### (2) 売上原価、売上総利益

売上原価は主に、サブスクリプション型シェアリングサービス用バッグの減価償却費、バッグ販売の原価等で構成されております。減価償却費はバッグの仕入計画、販売計画を反映したバッグ在庫を踏まえて策定し、バッグ販売原価はバッグ販売計画個数を踏まえて策定しております。

以上を踏まえ、2025年3月期の売上原価は606百万円（前期比46.0%増）、売上総利益は2,086百万円（前期比17.3%増）を見込んでおります。

(3) 販売費および一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は主に、人件費等、広告宣伝費、荷造運賃で構成されております。

人件費等は、事業拡大に伴う人員増加に加え、人材確保のためのベースアップに伴い前期11.7%増、広告宣伝費は、会員基盤拡大を企図したデジタル広告等の広告宣伝費として前期比5.7%増、荷造運賃については、2023年12月の月額利用料改定に伴うトランザクション数の減少に伴い前期比5.7%減を見込んでおります。

以上を踏まえ、2025年3月期の販売費及び一般管理費は1,451百万円（前期比9.7%増）、営業利益は634百万円（前期比39.6%増）を見込んでおります。

(4) 営業外費用、経常利益

営業外費用は主に、支払利息32百万円と上場関連費用50百万円であり、前期比140.8%増を見込んでおります。

以上を踏まえ、2025年3月期の経常利益は576百万円（前期比23.4%増）を見込んでおります。

(5) 特別利益・特別損失、当期純利益

特別損失は、サブスクリプション型シェアリングサービス用バッグの減損損失として36百万円（前期比1.4%減）を見込んでおります。

法人税等は税務上の調整科目を加味した課税所得に法定実効税率を乗じて見積計上をしており、前期は繰越欠損金により法人税等の負担率が7.5%でしたが、今期は10.4%を見込んでおります。

以上を踏まえ、2025年3月期の当期純利益は455百万円（前期比9.6%増）を見込んでおります。

**【業績予想に関するご留意事項】**

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以上



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年12月13日

上場会社名 ラクサス・テクノロジーズ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 288A URL <https://corp.laxus.co/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 高橋 啓介  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 中尾 聡志 TEL (082) 236-3801  
半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無: 無  
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	1,284	—	338	—	337	—	283	—
2024年3月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	14.83	—
2024年3月期中間期	—	—

- (注) 1. 当社は、2025年3月期中間期より中間財務諸表を作成しているため、2024年3月期中間期の数値及び2025年3月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。  
2. 当社は、2025年3月期中間期において、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できませんので、潜在株式調整後1株当たり中間純利益については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	3,759	1,125	29.9
2024年3月期	3,655	842	23.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,125百万円 2024年3月期 842百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,693	22.8	634	39.6	576	23.4	455	9.6	21.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 1株当たり当期純利益は、公募株式数（6,543,600株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	19,110,783株	2024年3月期	19,110,783株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	－株	2024年3月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	19,110,783株	2024年3月期中間期	－株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 中間貸借対照表 .....	3
(2) 中間損益計算書 .....	4
(3) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当社は、当中間会計期間において、中期経営戦略として掲げる「価値循環プラットフォーム」の確立に向けて、コアビジネスであるブランドバッグのサブスクリプション型シェアリングサービス「ラクサス」の強化に取り組んでまいりました。具体的には、新規会員獲得に向けた新たな施策として、主要な広告チャネルであるSNS等を通じた認知強化活動に注力するほか、近年拡大している音声広告に積極的に取り組んでおります。

また、当社は、会員数の拡大には新規会員獲得のみならず、サービス利用停止(チャーン)の抑止や過去にサービスの利用を停止したユーザーの再利用促進も重要であると考えております。

チャーンレートの改善については、過去の実績より離脱しやういと思われる層にターゲットを絞り各種キャンペーンを投入することで改善を図るほか、前払式支払手段である「ラクサス・キャッシュ」拡大に向けてはオートチャージ機能を追加することで継続率向上を狙っております。これらの施策は会員数の維持に一定の貢献を果たしております。

更に、当社はラクサス事業において、今期より戦略的な資産の入替を積極的に行い、人気・需要が高いバッグを増やすことで会員の利便性を高め、顧客満足度の向上に努めております。

バッグ販売につきましては、当社は、従前より試用販売サービス「買えちゃうラクサス」に取り組んでまいりましたが、今期より戦略的な資産の入替を加速させていることに伴い、レンタル対象外とした低稼働・不人気バッグ等の効率的な販売による収益獲得にも本格的に力を入れております。当該バッグの新たな販売チャネルとして、特にユーザードセレクトショップを通じた委託販売等のBtoBtoC、及びBtoB販路の拡大に注力しており、順調に成長しております。

上記に加えて、当社は、顧客満足度の向上にも注力しており、サービスの質の改善にも取り組んでまいりました。会員に人気が高いバッグについては、仕入に注力することで会員1名当たりの人気バッグ数を増加させるほか、ユーザーの想像と異なるバッグが届いた場合は無料で交換できるサービスや、バッグ交換の配送時にユーザーの手元にバッグがない期間をなくすため、実際のバッグを見てから交換できるプレミアム交換等のサービスも展開しております。

以上の結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高1,284,982千円、営業利益338,449千円、経常利益337,253千円、中間純利益283,451千円となりました。

なお、当社はラクサス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### (資産)

当中間会計期間末における資産合計は3,759,344千円となり、前事業年度末に比べ104,165千円増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ21,494千円減少し、1,028,251千円となりました。これは主に売上債権が現金化され現金及び預金が117,244千円増加した一方、それに伴い売掛金が86,709千円減少したこと、また、経年劣化などの要因のためレンタル用から販売用に振り替えた商品のBtoB販売を推進したことにより商品が55,712千円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べ125,659千円増加し、2,731,092千円となりました。これは主にレンタル資産のラインナップ更新を行いレンタル資産が76,928千円増加したこと、また前払式支払手段であるラクサスキャッシュの発行に伴う供託金の支払いにより投資その他の資産が52,213千円増加したことなどによります。

#### (負債)

当中間会計期間末における負債合計は2,633,757千円となり、前事業年度末に比べ179,285千円減少いたしました。

流動負債は、前事業年度末に比べ162,934千円減少し、2,590,457千円となりました。これは主に親会社である株式会社ワールドへの返済を行ったことにより関係会社短期借入金が2,262,862千円減少した一方、新たに金融機関から調達したことにより短期借入金が増加したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べ16,351千円減少し、43,300千円となりました。これは主に金融機関への長期借入金の返済を行ったことにより長期借入金が16,662千円減少したことなどによります。

#### (純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は1,125,586千円となり、前事業年度末に比べ283,451千円増加いたしました。これは業績堅調につき繰越利益剰余金が283,451千円増加したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想に関しましては、本日公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	440,302	557,546
売掛金	365,298	278,589
リース債権	—	41,352
商品	95,329	39,617
その他	161,563	131,041
貸倒引当金	△12,748	△19,896
流動資産合計	1,049,745	1,028,251
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	2,453,095	2,530,024
その他(純額)	55,872	52,456
有形固定資産合計	2,508,968	2,582,481
無形固定資産	168	100
投資その他の資産	96,296	148,510
固定資産合計	2,605,432	2,731,092
資産合計	3,655,178	3,759,344
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100,000	2,200,000
関係会社短期借入金	2,262,862	—
1年内返済予定の長期借入金	33,324	33,324
未払金	88,724	65,109
未払法人税等	37,860	63,297
賞与引当金	1,005	4,457
ポイント引当金	23,621	21,723
その他	205,995	202,544
流動負債合計	2,753,391	2,590,457
固定負債		
長期借入金	55,568	38,906
退職給付引当金	4,083	4,394
固定負債合計	59,651	43,300
負債合計	2,813,043	2,633,757
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,901	821,901
資本剰余金	806,338	806,338
利益剰余金	△786,105	△502,653
株主資本合計	842,134	1,125,586
純資産合計	842,134	1,125,586
負債純資産合計	3,655,178	3,759,344



## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	1,284,982
売上原価	294,396
売上総利益	990,585
売上利益調整	
繰延リース利益繰入額	1,121
売上利益調整額	△1,121
差引売上総利益	989,464
販売費及び一般管理費	651,015
営業利益	338,449
営業外収益	
固定資産売却益	15,430
その他	11,252
営業外収益合計	26,682
営業外費用	
支払利息	10,576
その他	17,301
営業外費用合計	27,878
経常利益	337,253
特別損失	
減損損失	10,309
特別損失合計	10,309
税引前中間純利益	326,943
法人税、住民税及び事業税	52,807
法人税等調整額	△9,314
法人税等合計	43,492
中間純利益	283,451

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。